

平成30年度（上半期）

丹羽広域事務組合水道事業報告書

自 平成30年 4月 1日

至 平成30年 9月30日

目 次

1	経理の状況		
	(1) 業務の状況	-----	1
	(2) 損益計算書	-----	2
	(3) 貸借対照表	-----	3
2	事業の概要		
	(1) 営業について	-----	5
	(2) 改良工事について	-----	5
	(3) 主な請負契約工事の内容	-----	6
3	業務		
	(1) 事業収入に関する事項	-----	8
	(2) 事業費用に関する事項	-----	8
	(3) 料金の状況	-----	9
	(4) 有収水量の状況	-----	9
	(5) 配水量の状況	-----	9
	(6) 給水負担金の状況	-----	9
	(7) 検針・徴収の状況	-----	9
4	会計		
	(1) 重要契約の要旨	-----	10
5	平成29年度決算状況		
	(1) 総括事項	-----	11
	(総括)	-----	11
	(経理の状況)	-----	11
	(改良工事)	-----	11
	(業務)	-----	11
	(2) 予算に対する決算状況	-----	12
	(3) 損益計算書	-----	12
	(4) 貸借対照表	-----	13

平成30年度水道事業会計（上半期）

1 経理の状況

(1) 業務の状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

(収入)

（単位：円）

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 事業収益	983,180,000	489,762,111	49.8	(うち仮受消費税) 32,079,795
第1項 営業収益	892,861,000	445,619,075	49.9	(") 32,065,841
第2項 営業外収益	90,319,000	44,143,036	48.9	(") 13,954

※営業外収益中、長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(支出)

（単位：円）

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 事業費用	944,349,000	370,993,037	39.3	(うち仮払消費税) 13,642,404
第1項 営業費用	917,958,000	369,312,514	40.2	(") 13,641,525
第2項 営業外費用	20,829,000	1,668,643	8.0	
第3項 特別損失	162,000	11,880	7.3	(") 879
第4項 予備費	5,400,000	0	-	

※営業費用中、減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

イ 資本的収入及び支出

(収入)

（単位：円）

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的収入	384,190,000	49,162,113	12.8	(うち仮受消費税) 2,427,843
第1項 企業債	155,000,000	0	-	
第2項 工事負担金	229,190,000	49,162,113	21.5	(") 2,427,843

(支出)

（単位：円）

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的支出	585,408,000	63,700,586	10.9	(うち仮払消費税) 3,582,042
第1項 建設改良費	585,408,000	63,700,586	10.9	(") 3,582,042

(2) 損益計算書 (税抜)

上半期分 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(単位: 円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	400,853,381		
(2) その他の営業収益	12,699,853	413,553,234	
2 営業費用			
(1) 配水及び給水費	229,667,051		
(2) 総係費	10,410,938		
(3) 減価償却費	115,593,000	355,670,989	
営業利益			57,882,245
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	15,290		
(2) 長期前受金戻入	41,828,500		
(3) 雑収益	2,285,292	44,129,082	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	1,668,643	1,668,643	42,460,439
経常利益			100,342,684
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	11,001	11,001	
当年度純利益			100,331,683
前年度繰越利益剰余金			215,374,098
当年度未処分利益剰余金			315,705,781

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(3) 貸借対照表 (平成30年9月30日現在)

資産の部

(単位: 円)

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地		179,195,992		
イ 建物	9,925,450			
減価償却累計額	△ 4,750,466	5,174,984		
ウ 構築物	10,588,361,802			
減価償却累計額	△ 5,121,079,240	5,467,282,562		
エ 機械及び装置	264,352,340			
減価償却累計額	△ 209,157,595	55,194,745		
オ 車両運搬具	11,631,435			
減価償却累計額	△ 10,202,289	1,429,146		
カ 工具器具及び備品	5,764,997			
減価償却累計額	△ 4,524,264	1,240,733		
キ 建設仮勘定		12,500,000		
有形固定資産合計			5,722,018,162	
(2) 無形固定資産				
ア 施設利用権		2,600,630		
イ 電話加入権		1,265,400		
無形固定資産合計			3,866,030	
固定資産合計				5,725,884,192
2 流動資産				
(1) 現金預金				
(2) 未収金		8,581,677		
貸倒引当金		△ 501,711	8,079,966	
(3) 貯蔵品			773,140	
(4) 概算払			29,115	
(5) 仮払消費税			17,472,314	
流動資産合計				847,047,077
資産合計				6,572,931,269

負債の部

(単位：円)

3 固定負債				
(1) 企業債			370,000,000	
(2) 引当金				
ア 退職給付引当金		13,196,290		
引当金合計			13,196,290	
固定負債合計				383,196,290
4 流動負債				
(1) 未払金			2,210,814	
(2) 前受金			3,230,940	
(3) 預り金			34,004,705	
(4) 仮受消費税			34,507,638	
流動負債合計				73,954,097
5 繰延収益				
ア 国庫補助金長期前受金		3,063,354		
収益化累計額		△ 1,540,744	1,522,610	
イ 県費補助金長期前受金		71,652,664		
収益化累計額		△ 54,406,075	17,246,589	
ウ 工事負担金長期前受金		3,657,971,128		
収益化累計額		△ 1,581,351,083	2,076,620,045	
エ 受贈財産評価額長期前受金		73,636,125		
収益化累計額		△ 7,826,175	65,809,950	
繰延収益合計				2,161,199,194
負債合計				2,618,349,581

資本の部

(単位：円)

6 資本金				
(1) 自己資本金				
ア 固有資本金		17,800,646		
イ 出資金		747,568,613		
ウ 組入資本金		2,412,239,712		
自己資本金合計			3,177,608,971	
資本金合計				3,177,608,971
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
ア 工事負担金		95,068,288		
イ 受贈財産評価額		1,198,648		
資本剰余金合計			96,266,936	
(2) 利益剰余金				
ア 利益積立金		30,000,000		
イ 建設改良積立金		335,000,000		
ウ 当年度未処分利益剰余金		315,705,781		
利益剰余金合計			680,705,781	
剰余金合計				776,972,717
資本合計				3,954,581,688
負債資本合計				6,572,931,269

2 事業の概要

(1) 営業について

平成30年度上半期(平成30年4月～平成30年9月)における有収水量は306万 m^3 であり、前年度と比較し、4万1千 m^3 の増で101.4%となりました。

収益的収支の収入は、事業収益が予算額9億8,318万円に対して、4億8,976万2千円で49.8%の執行率となり、そのうち水道料金収入は4億3,288万8千円で、口座振替加入率が84.4%となっております。

支出では、事業費用として予算額9億4,434万9千円に対し、支出額は3億7,099万3千円で39.3%の執行率となっております。

資本的収支は、収入4,916万2千円に対し、支出は6,370万1千円となっております。

給水業務については、新規給水申込が172件で、前年同期の件数と比較すると8件の減となりました。

下半期についても一層の経費節減に心掛け、健全経営に努めてまいります。

区分		単位	平成29年度上半期	平成30年度上半期	増減(△減)
給水戸数		戸	22,886	23,303	417
給水人口		人	58,400	58,716	316
配水量	総配水量	m^3	3,390,793	3,429,897	39,104
	一日最大配水量	m^3	20,357	21,308	951
	一日平均配水量	m^3	18,428	18,641	213
有収水量		m^3	3,018,970	3,060,138	41,168

(2) 改良工事について

今年度といたしましては、施設改良関係で1億9,312万6千円、配水管整備関係では、配水幹線のバイパス工事、水圧水質改善及び有収率向上を目的とした布設替工事等で3億2,872万2千円、合わせて5億2,184万8千円を予算計上しています。

上半期の発注状況としましては、施設改良関係及び配水管整備関係を合わせて3億5,884万1千円を発注し、執行率は68.8%となっております。

(3) 主な請負契約工事の内容

①建設改良工事等

工 事 名	工事内容	契約金額 (円)	契 約 年 月 日	請 負 業 者
水源集約施設設計業務	工事設計、測量、地質調査配管整備基本検討他	28,047,600 (36,180,000)	29. 6. 9	中日本建設コンサルタント(株)
遠方監視設備工事	設計業務～一式 据付工事～一式	62,510,400 (67,878,000)	29.10.17	愛知時計電機(株) 名古屋支店
高雄字南屋敷地内 配水管布設替工事	HPPEP φ50他 L= 102.590m	3,963,600	30. 4. 24	(株)丸広水道店
扶桑北部水源 井戸新設工事	SUS400A×85m～2本	93,960,000	30. 4. 24	三協工業(株) 名古屋営業所
高雄字下山地内 配水管布設替工事	HPPEP φ75他 L= 236.363m	9,169,200	30. 4. 26	山本設備
堀尾跡一丁目地内 配水管布設工事	HPPEP φ100他 L= 28.620m	8,218,800	30. 4. 26	(有)新栄設備
外坪五丁目地内 配水管布設工事	HPPEP φ75他 L= 137.840m	6,534,000	30. 5. 29	(有)吉田設備
高雄字南東川地内 配水管布設替工事	HPPEP φ150他 L= 360.855m	15,368,400	30. 5. 30	永光建設(株)
柏森字中島地内 配水管布設替工事	SUS80A他 L= 43.870m	7,754,400	30. 6. 5	永光建設(株)
竹田三丁目地内 配水管布設替工事	HPPEP φ75他 L= 139.455m	6,372,000	30. 7. 2	丸周建設(株)
丸二丁目地内 仕切弁設置工事	仕切弁φ150～1基他	2,592,000	30. 7. 27	熊沢建設(株)
高雄字郷東地内 配水管布設替工事	HPPEP φ50他 L= 67.710m	2,041,200	30. 7. 27	吉永建設工業(株)
高雄字宮島地内 配水管布設替工事	HPPEP φ75他 L= 94.180m	4,384,800	30. 8. 6	永光建設(株)
上小口地内 配水管布設工事	DIP. GX φ300他 L= 260.610m	26,568,000	30. 8. 16	吉永建設工業(株)
高雄字堂子地内 配水管布設替工事	HPPEP φ50他 L= 141.790m	5,562,000	30. 8. 16	吉永建設工業(株)
上小口地内配水管 布設工事その2	DIP. GX φ300他 L= 201.400m	18,900,000	30. 8. 17	山本設備
高雄字米ノ山地内 配水管布設替工事	HPPEP φ50他 L= 97.422m	3,229,200	30. 9. 10	吉永建設工業(株)
大屋敷三丁目地内 配水管布設替工事	HPPEP φ50他 L= 9.990m	1,350,000	30. 9. 10	(株)丸広水道店
萩島二丁目地内 配水管布設替工事	HPPEP φ150他 L= 319.860m	23,544,000	30. 9. 21	永光建設(株)
萩島二丁目地内 配水管布設替工事その2	HPPEP φ150他 L= 498.360m	21,816,000	30. 9. 21	丸周建設(株)

工 事 名	工事内容	契約金額 (円)	契 約 年月日	請 負 業 者
堀尾跡一丁目地内 消火栓設置工事	地下式単口消火栓 φ75~1基	2,224,800	30. 9. 10	(有)丸仔吉田水道
高雄字北郷地内 配水管仮設工事	仮設給水工VPφ75他(139m) 仕切弁設置φ50~1基 L= 1.74m	1,933,200	30. 9. 10	吉永建設工業(株)

※ () 内は継続事業全体の金額

②配水管新設工事

工 事 名	工事内容	契約金額 (円)	契 約 年月日	請 負 業 者
斎藤字御堂地内 配水管新設工事No.283	HPPEPφ50 L= 41.520m	1,285,200	30. 5. 8	(株)丸広水道店
高雄字堂子地内 配水管新設工事No.27	HPPEPφ50他 L= 34.490m	1,706,400	30. 6. 1	(有)丸仔吉田水道
南山名字前ノ浦地内 配水管新設工事No.32	HPPEPφ50 L= 96.680m	2,883,600	30. 6. 1	(有)丸仔吉田水道
仲沖二丁目地内 配水管新設工事No.35	HPPEPφ50 L= 35.900m	1,263,600	30. 6. 1	永光建設(株)
柏森字西前地内 配水管新設工事No.120他	HPPEPφ50他 L= 33.300m	1,404,000	30. 8. 8	(有)新栄設備

3 業務

(1) 事業収入に関する事項

(単位：円)

事 項	29年度上半期	30年度上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率(%)	
営業収益	406,355,536	413,553,234	7,197,698	101.77	445,619,075
給 水 収 益	393,784,205	400,853,381	7,069,176	101.80	432,888,119
受 託 工 事 収 益	290,040	0	△ 290,040	皆減	0
その他の営業収益	12,281,291	12,699,853	418,562	103.41	12,730,956
営業外収益	39,644,774	44,129,082	4,484,308	111.31	44,143,036
受取利息及び配当金	16,524	15,290	△ 1,234	92.53	15,290
長期前受金戻入	37,503,500	41,828,500	4,325,000	111.53	41,828,500
雑 収 益	2,124,750	2,285,292	160,542	107.56	2,299,246
計	446,000,310	457,682,316	11,682,006	102.62	489,762,111

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(供給単価)

29年度上半期	給水収益	393,784,205 円 (消費税相当額抜き)	= 130.44 円
	有収水量	3,018,970 m ³	
30年度上半期	給水収益	400,853,381 円 (消費税相当額抜き)	= 130.99 円
	有収水量	3,060,138 m ³	

(2) 事業費用に関する事項

(単位：円)

事 項	29年度上半期	30年度上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率(%)	
営業費用	348,891,057	355,670,989	6,779,932	101.94	369,312,514
配水及び給水費	226,786,187	229,667,051	2,880,864	101.27	243,201,154
受 託 工 事 費	260,000	0	△ 260,000	皆減	0
総 係 費	12,083,870	10,410,938	△ 1,672,932	86.16	10,518,360
減 価 償 却 費	109,761,000	115,593,000	5,832,000	105.31	115,593,000
営業外費用	1,355,000	1,668,643	313,643	123.15	1,668,643
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,355,000	1,668,643	313,643	123.15	1,668,643
特別損失	90,427	11,001	△ 79,426	12.17	11,880
固 定 資 産 売 却 損	33,619	0	△ 33,619	皆減	0
過年度損益修正損	56,808	11,001	△ 45,807	19.37	11,880
計	350,336,484	357,350,633	7,014,149	102.00	370,993,037

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(給水原価)

29年度 上半期	総費用	受託工事費	特別損失	長期前受金戻入	= 103.51 円
	350,336,484円 - (260,000円 +	90,427円 +	37,503,500円)	
		有収水量	3,018,970 m ³		
30年度 上半期	総費用	受託工事費	特別損失	長期前受金戻入	= 103.10 円
	357,350,633円 - (0円 +	11,001円 +	41,828,500円)	
		有収水量	3,060,138 m ³		

(3) 料金の状況

(単位：千円)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
29年度上半期		66,013	68,270	66,530	74,598	72,122	77,721	425,254
30年度上半期		70,913	69,554	67,874	74,324	71,306	78,917	432,888
比較	増減(△減)	4,900	1,284	1,344	△ 274	△ 816	1,196	7,634
	比率(%)	107.4	101.9	102.0	99.6	98.9	101.5	101.8

(4) 有収水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
29年度上半期		433,674	529,226	440,880	566,305	467,895	580,990	3,018,970
30年度上半期		458,679	536,579	447,864	564,607	464,281	588,128	3,060,138
比較	増減(△減)	25,005	7,353	6,984	△ 1,698	△ 3,614	7,138	41,168
	比率(%)	105.8	101.4	101.6	99.7	99.2	101.2	101.4

(5) 配水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
29年度上半期		557,671	544,283	576,048	560,198	574,768	577,825	3,390,793
30年度上半期		563,258	539,403	568,113	573,730	603,856	581,537	3,429,897
比較	増減(△減)	5,587	△ 4,880	△ 7,935	13,532	29,088	3,712	39,104
	比率(%)	101.0	99.1	98.6	102.4	105.1	100.6	101.2

(6) 給水負担金の状況

項目	29年度上半期	30年度上半期	比較	
			増減(△減)	比率(%)
加入件数(件)	198	187	△ 11	94.4
給水負担金(円)	28,949,400	24,786,000	△ 4,163,400	85.6

※内訳としては、新規申込件数が172件で給水負担金は23,490,000円、口径変更件数は15件で給水負担金は1,296,000円となりました。

(7) 検針・徴収の状況

ア 検針

区分	延件数			2か月平均	
	29年度上半期	30年度上半期	増減(△減)	29年度上半期	30年度上半期
総検針件数	66,918	67,345	427	22,306	22,448

イ 徴収

区分	延件数			2か月平均	
	29年度上半期	30年度上半期	増減(△減)	29年度上半期	30年度上半期
総徴收件数	67,259	68,632	1,373	22,420	22,877
内訳	銀行納付	2,098	2,104	6	701
	コンビニ納付	9,112	9,985	873	3,328
	口座振替	55,917	56,422	505	18,639
	窓口納付	132	121	△ 11	44

4 会計

(1) 重要契約の要旨

内容については、「2 事業の概要」中「(3) 主な請負契約工事の内容」と同一のため省略。

5 平成29年度決算状況

(1) 総括事項

(総括)

水道は、今やほとんどの人が利用できるまでに普及し、健康で文化的な生活や様々な社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤として、重要な役割を果たしています。ライフラインである水道を常に安心・安全・安定して住民のみなさまに供給できるよう、管路や施設の耐震化や、更新、改修を計画的に実施し、災害に強い水道づくりを進めていく必要があります。

29年度 of 取組みとしては、主に大口南部水源改良工事が完了したことにより省エネ機器を導入した新しい水源施設からの配水を開始しました。また、水源集約施設である扶桑北部配水場の用地を取得し、建設に向けて厚生労働省に水道事業の変更認可を行いました。

水道事業は今後予想される人口減少に伴う料金収入の減少や水道施設の老朽化に伴う更新費用の増大等さまざまな課題に直面しています。将来にわたり持続可能な水道とするため、将来を見据えた資金計画や更新計画をもとに水道基盤の強化に取り組んでいきます。

(経理の状況)

29年度の収益的収支（消費税相当額抜）において、営業収益8億2,253万4千円に対し、営業費用8億1,541万8千円で、営業利益は711万6千円となりました。営業外収益8,559万円に対し、営業外費用は1,093万8千円で、経常利益は8,176万8千円となりました。

また、特別利益は299万8千円、特別損失は9万4千円でありましたので、当年度の純利益は8,467万2千円となりました。

次に、資本的収支（消費税相当額込）におきましては、2億8,278万8千円の収入に対し、支出は6億3,672万1千円で、3億5,393万3千円の不足となりました。この不足額は、過年度分損益勘定留保資金2億1,947万5千円、建設改良積立金1億円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,445万8千円で補てんしました。

(改良工事)

第3次水道整備実施計画に基づく工事では、平成28年度・29年度継続事業の大口南部水源改良工事が完了し、施設の耐震化と省エネルギー化のもと、約1,200戸へ給水を開始、平成29年度・30年度の継続事業では、施設の監視強化等のための遠方監視設備工事及び小規模かつ老朽化した配水場の集約を目的とした水源集約施設の設計業務に着手しました。配管整備においては、基幹管路の耐震化を行うためのバイパス管布設工事を施工しました。そのほか、漏水多発路線及び水質改善を目的とした配水管布設替工事、国道41号線6車線化に伴う配水管整備についても施工しました。

(業務)

29年度末の給水件数は22,783件、有収水量は6,086,553^m、有収率は89.84%です。

新規加入、移動、臨時、口径変更等の給水申込みは、合計499件となり、その他として量水器及び止水栓取替工事を2,180件行いました。

検針、徴収業務については、18名の検針委託人と職員で処理しました。なお、徴収業務のうち年度末における口座振替件数は19,246件となり、加入率は84.5%となっています。

(2) 予算に対する決算状況

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算に対する割合(%)
事業収益	987,482,000	974,766,496	98.71
事業費用	910,532,000	863,576,016	94.84
資本的収入	334,265,000	282,787,648	84.60
資本的支出	742,820,600	636,720,847	85.72

(3) 損益計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1 営業収益

(単位：円)

(1) 給 水 収 益	795,143,031		
(2) 受 託 工 事 収 益	485,140		
(3) その他の営業収益	26,905,955	822,534,126	

2 営業費用

(1) 配 水 及 び 給 水 費	560,948,331		
(2) 受 託 工 事 費	442,500		
(3) 総 係 費	23,057,222		
(4) 減 価 償 却 費	219,490,120		
(5) 資 産 減 耗 費	11,479,823	815,417,996	

営業利益			7,116,130
------	--	--	-----------

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	21,829		
(2) 他会計負担金	2,720,000		
(3) 長期前受金戻入	79,028,329		
(4) 雑 収 益	3,819,424	85,589,582	

4 営業外費用

(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,710,000		
(2) 雑 支 出	8,227,650	10,937,650	74,651,932
経 常 利 益			81,768,062

5 特別利益

(1) 引 当 金 戻 入 益	2,547,000		
(2) 過 年 度 損 益 修 正 益	451,061	2,998,061	

6 特別損失

(1) 固 定 資 産 売 却 損	33,619		
(2) 過 年 度 損 益 修 正 損	60,094	93,713	2,904,348

当 年 度 純 利 益			84,672,410
前年度繰越利益剰余金			30,701,688
その他未処分利益剰余金変動額			100,000,000
当年度未処分利益剰余金			215,374,098

(4) 貸借対照表 (平成30年3月31日)

(単位: 円)

		資 産 の 部	
1 固定資産			
(1)有形固定資産			
ア	土地		179,195,992
イ	建物	9,925,450	
	減価償却累計額	△ 4,602,218	5,323,232
ウ	構築物	10,529,303,138	
	減価償却累計額	△ 5,007,479,935	5,521,823,203
エ	機械及び装置	263,292,460	
	減価償却累計額	△ 207,671,892	55,620,568
オ	車両運搬具	11,631,435	
	減価償却累計額	△ 9,935,291	1,696,144
カ	工具器具及び備品	5,764,997	
	減価償却累計額	△ 4,431,518	1,333,479
キ	建設仮勘定		12,500,000
	有形固定資産合計		5,777,492,618
(2)無形固定資産			
ア	施設利用権		2,600,630
イ	電話加入権		1,265,400
	無形固定資産合計		3,866,030
	固定資産合計		5,781,358,648
2 流動資産			
(1)	現金預金		662,791,458
(2)	未収金	51,957,341	
	貸倒引当金	△ 501,711	51,455,630
(3)	貯蔵品		2,259,100
(4)	概算払		16,658,359
	流動資産合計		733,164,547
	資産合計		6,514,523,195

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債		370,000,000	
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	13,196,290		
引当金合計		<u>13,196,290</u>	
固定負債合計			<u>383,196,290</u>

4 流動負債

(1) 未払金		79,235,420	
(2) 前受金		600,257	
(3) 引当金			
ア 賞与引当金	8,718,000		
引当金合計		<u>8,718,000</u>	
(4) 預り金		<u>32,229,799</u>	
流動負債合計			<u>120,783,476</u>

5 繰延収益

ア 国庫補助金長期前受金	3,063,354		
収益化累計額	<u>△ 1,498,244</u>	1,565,110	
イ 県費補助金長期前受金	71,652,664		
収益化累計額	<u>△ 53,845,575</u>	17,807,089	
ウ 工事負担金長期前受金	3,611,236,858		
収益化累計額	<u>△ 1,540,975,583</u>	2,070,261,275	
エ 受贈財産評価額長期前受金	73,636,125		
収益化累計額	<u>△ 6,976,175</u>	66,659,950	
繰延収益合計			<u>2,156,293,424</u>
負債合計			<u>2,660,273,190</u>

資本の部

6 資本金

(1) 自己資本金			
ア 固有資本金	17,800,646		
イ 出資金	747,568,613		
ウ 組入資本金	<u>2,412,239,712</u>		
自己資本金合計		<u>3,177,608,971</u>	
資本金合計			<u>3,177,608,971</u>

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 工事負担金	95,068,288	
イ 受贈財産評価額	1,198,648	
資本剰余金合計		96,266,936

(2) 利益剰余金

ア 利益積立金	30,000,000	
イ 建設改良積立金	335,000,000	
ウ 当年度未処分利益剰余金	215,374,098	
利益剰余金合計		580,374,098

剰余金合計 676,641,034

資本合計 3,854,250,005

負債資本合計 6,514,523,195

※1 賞与引当金の取り崩し

当年度において、賞与引当金8,835,000円を取り崩し、6月期末勤勉手当に充当した。

※2 貸倒引当金の取り崩し

当年度において、貸倒引当金159,530円を取り崩し、貸倒れ債権として欠損処理をした。

※3 退職給付引当金の戻入

当年度期首における退職給付引当金から、当年度末の要退職給付引当金を差し引いた残額2,547,000円を特別利益として戻入した。